

長期使用の石油機器から出火

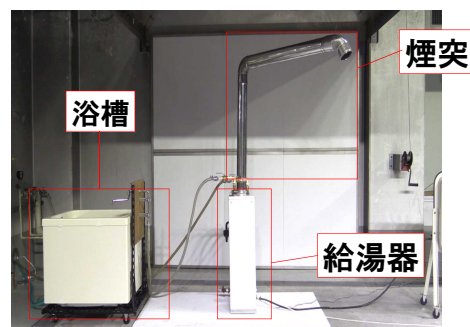
事故の概要

- 【事例①】 石油給湯機を使用中、爆発を伴う火災が発生した。
- 【事例②】 ふろ場から出火して、住宅を全焼した。

事故の原因

【事例①】

長期間の使用により、石油給湯機の内部部品の破損及び消耗が生じ、着火不良が発生し、燃焼室内に霧状の未燃灯油が充満したことで、異常着火で製品及び煙突が破損する火災に至ったものです。



【事例②】

長期間の使用により、石油ふろがまの煙突接続部分が劣化して壊れていたため、火の粉が周囲に飛び散って屋根等に着火して火災に至ったものです。



石油給湯機が異常燃焼して、煙突から煙が出ている様子

事故防止のために

- 石油給湯機と石油ふろがまは、平成21年4月1日から始まった「長期使用製品安全点検制度」の対象製品です。購入時に所有者登録をしてください。また、制度開始前に製造・輸入された製品についても、製造時期を確認して、メーカーの点検を受けてください。
- 石油給湯機に着火不良や油漏れなどの症状がみられたら、使用を中止してメーカーによる点検を受けてください。

